

～湘北地区の世帯数・人口～		
地域	世帯数	人口
鶴が台	2,433(-34)	4,191(-64)
香川	4,936(-4)	11,661(-9)
松風台	614(-26)	1,471(-28)
甘沼	2,196(-22)	5,433(+22)
みずき	1,181(-37)	3,294(-27)
湘北地区	11,360(-123)	26,050(-106)
茅ヶ崎市	104,552(+93)	243,835(-1249)

・ 2022年1月1日現在。()内は対前年同月比。



発行日 2022年3月1日
 発行者 湘北地区社会福祉協議会
 会長 有元佳子
 発行部数 9,500部
 編集 広報委員会 深栖 健男



特集 コロナ禍における福祉について

つながりを絶やさないオンライン懇談会の取り組み

昨年から続くコロナ禍において、地域コミュニケーションは遮断され、高齢者や、小さいお子様を子育て中のご両親、障がいを持った方など、行動は規制され、コミュニケーションが取れないまま過ごされている状況が続いております。そんなコロナ禍において地域福祉を考える懇談会は昨年からのオンラインによるコミュニケーションの実施にシフトしています。

地域福祉を考える懇談会はオンライン化へ

地区社協として定着しつつある Zoom による“地域福祉を考える懇談会”を実施しました。はじめたころにはうまくいかなかった Zoom へのアクセスは、皆さんの慣れもあって、スムーズに出来るようになってきました。また会議中の発言や



討議についてもオンラインという不自由さを乗り越え、司会者の仕切りの中、順番に簡潔に話をしていくことが出来るようになり、対面同等の議論が可能となりました。福祉活動をされている方たちが集まって話すという機会がほとんどできない中、オンライン化を推進することにより、このように情報交換が可能となりました。

懇談会の中から地域の課題が顕在化！

今年度の懇談会は情報交換だけではなく、より深い地域の課題（コロナに限らず）を議論できるように工夫がされました。地域の中で困っていることを個々に拾い上げ、それを参加者で共有し、地域としてなにが出来るのかを考えるという進め方で行いました。より身近な話題をテーマとすることで具体的に困っていることが鮮明となり、議論は深まりました。

その一例として、高齢者のごみ出し問題がありました。一人暮らしの高齢者にとってゴミを集積所まで持っていくことが大変困難です。茅ヶ崎市の安心まごころ収集事業はありますが、登録するのに時間がかかったり、登録の条件に満たない等、利用することが出来ない人もいます。過去ボランティアセンターでも請け負ったこともあるとのことでしたが、毎日の事なのでボランティアとして続けるには過酷な事であり、対応しきれなかったとのことでした。そんな身近なことを地域として支え合うにはどうしたらいいのか？行政とのタイアップを含めて議論をしていきました。

今後も地域で支え合うための情報集約の場として、オンライン会議システムを利用しながら懇談会を継続してまいります。(安心まごころ収集事業は、4月から大幅に条件緩和になるので申請などについては、民生委員に相談してください。)

分科会活動内容紹介



セカンドライフを楽しむ会

セカンドライフを楽しむ会は「楽しく歩いて健幸に」をテーマに今年で5回目を迎えました。今年度は10月6日(水)に実施し、15人の参加者がありました。湘北地区ボランティアセンター（香川）を出発し甘沼地区の北根公園へ向かいました。有元会長の認知症の予防のための話のあと、全員でラジオ体操、ペタンク、ネイチャーゲームを楽しく行いました。終了後、ボランティアセンターに戻り全員で集合写真を撮りました。

参加者の感想は「とても楽しかった、また来年も参加したい」「初めてペタンクをやったが、面白かった」「ネイチャーゲームも楽しかった」と好評でした。

実行委員の皆様、ご協力ありがとうございました。



ラジオ体操の様子



ボラセンに戻り記念撮影

健康福祉講座

今年度の、健康福祉講座の活動に付いては、「オーラルフレイル」（食物を嚙んだり飲み込んだりすることが衰える事により、それが全身の老化につながるという考え方です。）をテーマとして、香川公民館にて講座を開催するか、リーフレットを作成して、住民に配布するか、ぎりぎりまで検討を重ねました。

昨今のコロナ過の状況を鑑み、大人数を一室に集めての講座開催は、時期尚早との結論に至り、講座開催を断念しリーフレットを作成して住民の皆さんへ配る事と致しました。今回のテーマに付いては、講座を快諾いただいた先生の下承もあり、次年度へ持ち越す事と致します。

香川子育てサロン にこにこサークルの活動

10月29日（金） ハッピーハロウィン
12月17日（金） ハッピークリスマス



ハッピークリスマスではサンタさんが一杯

地域福祉に貢献された功績表彰

今年度茅ヶ崎市福祉大会にて、福祉活動を通して地域福祉に貢献された功績に対して、茅ヶ崎市社会福祉協議会から感謝状が授与されました。また同じく多年にわたり地域福祉に貢献された功績に対し、神奈川県社会福祉協議会から表彰状が授与されました。



柿澤 ヨシ子 さん



にこにこサークル 福岡さん、田中さん、長嶋さん



澄川 篤 さん



沼上 純子 さん

～～ 湘北地区ボランティアセンターだより ～～

発足して18年、地域福祉の拠点となって日々の生活を支援してきましたが、コロナ禍の現在、活動が制限されて皆様からの依頼件数も以前より少なく60～70%程度になっています。しかし、草取り・枝切り等の作業が多く、男性サポーターが少ないのが悩みです。高齢化が進む現在、日常の生活支援〈ゴミ出し、病院の付き添い、風呂の掃除〉の悩みも増えています。ボランティア活動は【できるときに できることを できるところで】を合い言葉に、皆様の参加をお待ちしています。



草刈り支援で休憩中

湘北地区社会福祉協議会 年度活動総括 ～令和三年度を振り返って～ 有元会長



一昨年より続く前例のない新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会生活がすっかり様変わりしてしまいました。人と人とのコミュニケーションが断たれ、マスク着用、手指消毒、三密を避けた不自由で不安な日々が続きました。そんな中、福祉に携わる地区社協の会員にとっては活動できる会場の制限、活動そのものの中断等により、大変なご苦勞を強いられ、それでも知恵と工夫のできる範囲の活動を計画し実践してきました。「地域福祉を考える懇談会」ではオンライン形式による福祉団体のご参加を得て2回にわたり情報交換や悩み事等の話し合いを活発に行いました。また、今年度第一回目の地区社協の理事会が開かれたのは、12月の寒さ厳しい夜でした。各自治会からはじめて参加された理事の皆様有難うございました。

異例づくめの令和3年度でしたが、地区社会福祉協議会は住民の皆様のご生活向上のため、地域づくりのために努力しています。先が見えないコロナ禍ですがご理解とご協力を切にお願い致します。

有元佳子



YouTube【茅ヶ崎市公式】

ちがさき動画ライブラリー

ボラダス。

ボランティアに一步踏みだす



<広報誌のアンケート>

広報湘北へアンケートお寄せください。

締め切り日

4月30日



湘北地区社会福祉協議会のホームページをご覧ください。分科会の活動やボランティアセンターの活動、地域のサロン情報を掲載しています。



「カード預かります」は詐欺です！ 詐欺には十分ご注意ください。



編集後記

今年度も昨年度に引き続き、広報委員会では、コロナ感染拡大防止の為に活動を自粛し、年間2回の発行を断念し、1回のみので広報誌発行としています。 (広報委員会一同)